

衆議院決算行政監視委員会

行政監視に関する小委員会ニュース

平成 24.8.2 第 180 回国会第 2 号

8月2日(木)、第2回の小委員会が開かれました。

1 行政監視に関する件

- 行政監視に関する件(「行政監視に基づく事業の見直しに関する決議」に対し、政府において講じた措置)について、柳澤経済産業副大臣、園田内閣府大臣政務官、三谷財務大臣政務官、若泉財務大臣政務官、神本文部科学大臣政務官、藤田厚生労働大臣政務官及び政府参考人並びに参考人に対し質疑を行いました。

(参考人)

独立行政法人理化学研究所理事

田中正朗君

- 行政監視に関する件(「行政監視に基づく事業の見直しに関する決議」に対し、政府において講じた措置)について、小委員間で総括的な討議を行いました。

(質疑者及び主な質疑内容)

(革新的ハイパフォーマンス・コンピューティング・インフラの構築)

岡田康裕君(民主)

- 「京」以降のスーパーコンピュータの調査・研究開発状況はどのようになっているか伺いたい。
- スカラー・ベクトル複合型からスカラー型に変更されたのは、複合型で参入していた民間企業がコスト面などで撤退したからだと理解していたが、そうではなく技術的判断に基づくものであったのか伺いたい。

遠山清彦君(公明)

- HPCI戦略プログラム5分野のうち、防災・減災については優先的に行う等、早期に今後のHPCI計画のビジョンを出す必要があると思うがいかがか。

平将明君(自民)

- スーパーコンピュータ「京」のシステム構成の評価について、科学技術・学術審議会と総合科学技術会議の役割分担を伺いたい。
- スカラー・ベクトル複合型の採用を決定した会議体と、「京」のシステム構成の再検討を行った会議体が異なっているが、大きな方向転換を行うにも関わらず、異なる会議体で行った理由について伺いたい。
- 資料の出し方、説明の仕方等、文部科学省の体質に問題があると思うが、文部科学大臣政務官の認識を伺いたい。

河野太郎君(自民)

- 今後のスーパーコンピュータの研究開発戦略について伺いたい。
- スーパーコンピュータの開発を行っていない国は、科学的技術が劣っているのかについて、政府の見解を伺いたい。
- スカラー・ベクトル複合型からスカラー型に変更になった経緯について、文部科学大臣政務官の認識を伺いたい。

階猛君(民主)

- 必要があって世界一を目指していたのかについて、政府の認識を伺いたい。
- 「京」でなければできない研究成果を示して、定期的に国民に公開すべきだと考えるが、政府の見解を伺いたい。
- 戦略プログラム利用率に50%、一般利用率に30%を割り当てるとのことだが、文部科学省が利用率を設定したのはなぜか、また、残りの20%は何に割り当てるとのことについて伺いたい。

加藤学君(生活)

- 利用料金を1時間10万円とした根拠について伺いたい。
- 有償とする場合の利用料金で、運営費がどの程度回収できる見込みなのかについて伺いたい。

(医療費レセプト(請求書)審査事務)

奥野 総一郎君(民主)

- ・厚生労働省は、統合した場合の新たなコストを推計して当委員会に提出し、その中では前提として、余剰スペースは売却しないものとしているが、売却した場合についても推計するべきではないか。
- ・審査支払機関の統合は、あくまで低いコストで最大の査定率を達成するための一つの選択肢に過ぎないので、統合に係るコストの試算はしっかりやってほしいが、行政として、査定率向上に向けた具体的な取組はあるのか、厚生労働省の見解を伺いたい。

岡田 康裕君(民主)

- ・厚生労働省が提出したコスト推計表は、上段は統合した場合、下段は競争を促進した場合を記載しているが、そもそも両者を分けるべきではなく、競争を行った上で統合した場合に向けて努力するべきではないのか。
- ・厚生労働省が行ったアンケートは、効率化して統合した場合も示した上で実施するべきはなかったのか。
- ・レセプトの審査手数料については社会保険診療報酬支払基金と国民健康保険団体連合会との間で約30%の開差があり、これだけ差があると審査支払機関に競争を導入するのは難しいと考えるが、この開差理由を含め、厚生労働省の見解を伺いたい。

遠山 清彦君(公明)

- ・レセプト審査の委託先を変更したくても被保険者の保険番号の変更のための多額のコストが障壁となっているので、負担を軽減するなど条件を緩和するべきではないか。
- ・国民健康保険団体連合会と社会保険診療報酬支払基金ではレセプト審査事務やシステムが大きく異なっているが、なぜそのようなことになっているのか。
- ・審査支払機関におけるレセプト審査は、実態として、医学専門知識を必要としない審査が7割を占めていることから、医学専門知識を有しない者に事前に仕分けをさせた上で医師等が審査を行うのが医療費削減につながると思われるが、厚生労働省の見解を伺いたい。

平 将明君(自民)

- ・厚生労働省が当委員会に提出したコスト推計で今回と前回とが相違していることについてどのように総括するのか。
- ・内容が一方的で素人が見たら真偽が分からないような数字を提出して結論を誘導するというのは国の統治の根幹に関わる問題であるとするが、藤田厚生労働事務官の見解を伺いたい。

- ・コスト推計が前回と今回で異なったことの再発防止のために責任者の処分と再発防止の仕組みを構築するべきと考えるが、藤田事務官の見解を伺いたい。

向山 好一君(民主)

- ・審査支払機関を統合した場合、レセプトの査定率が、査定率の高い社会保険診療報酬支払基金と低い国民健康保険団体連合会のどちらにシフトしていくと考えているか、厚生労働省の見解を伺いたい。
- ・審査支払機関を統合した場合のコストについて、ランニングコストよりも人件費等の共通経費が大きくなっており、この共通経費を試算する際の前提によって統合コストの試算結果も変わってくると思われるが、この前提はどこまで信用できるものか、厚生労働省の見解を伺いたい。
- ・審査支払機関を統合する場合としない場合のコスト比較について、審査支払機関だけでなく、保険者や病院等も含めた医療費全体で見ると必要があるのではないかと、厚生労働省の見解を伺いたい。

階 猛君(民主)

- ・労災診療費のレセプト審査は、保険診療の対象とならない私的な診療であるかどうかの審査と、医療費が適正であるかどうかの審査の二段階に分けられるが、後者の審査を審査支払機関に委託できない理由について、厚生労働省の見解を伺いたい。

(公務員宿舎建設・維持管理等に必要な経費)

松本大輔君(民主)

- ・昨日行政改革実行本部で決定された国有資産売却の工程表と、昨年閣議決定された国家公務員宿舎の削減計画との違いについて伺いたい。

平将明君(自民)

- ・朝霞宿舎の建設中止による損害賠償金の規模について伺いたい。
- ・削減計画における必要な宿舎数の計算を、当事者である各省庁に任せるのではなく、政治家が責任を持って精査し責任を取る体制を作る必要があるのではないか。
- ・削減期間を今後5年という長期間としたのは、あまりにスピード感に欠けると思うが財務省の見解を伺いたい。

森岡洋一郎君(民主)

- ・国家公務員宿舎の削減計画の進捗状況、維持管理の民間委託の状況について伺いたい。

岡田康裕君(民主)

- ・国家公務員宿舎の削減計画を実現するために、現時点で廃止が決定された宿舎以外について行われるコスト比較においては、長期保有リスクも勘案して試算を行うべきと考えるが、政府の見解を伺いたい。

初鹿明博君(民主)

- ・国家公務員宿舎の削減計画を実現するために、現時点で廃止が決定された宿舎以外について行われるコスト比較においては、借上げによる経済波及効果も含めて試算を行うべきと考えるが、政府の見解を伺いたい。
- ・職務上宿舎への入居が認められる職員類型の緊急参集要員については、9キロ圏内の宿舎に入居させなくてはその役割を果たすことができないため、9キロ圏外の宿舎に入居することは認められないと考えるが、政府の見解を伺いたい。
- ・職務上宿舎への入居が認められる職員類型のうち、緊急参集要員と本府省職員とに該当する人数で重複している部分はあるのか。

小野塚勝俊君(民主)

- ・職務上宿舎への入居が認められる職員類型のうち、緊急参集要員、本府省職員に該当する人数について伺いたい。

階猛君(民主)

- ・国有資産売却の工程表で、廃止を決定した宿舎に続く残りの4万戸の今後の進め方について伺いたい。
- ・宿舎使用料を独立採算が可能な額にまで引き上げる時期について伺いたい。

向山好一君(民主)

- ・職務上宿舎への入居が認められる職員類型のうち、頻度高く転居を伴う職員は、民間でも事情は一緒であり、国家公務員宿舎が必要な理由を伺いたい。

(原子力関連予算の独立行政法人及び公益法人への支出)

河野太郎君(自民)

- ・原子力関連企業への所管府省からの天下りは今後行わないことを確認したい。
- ・高レベル放射性廃棄物の最終処分地を決定する年、最終処分地が稼働する年、青森県から引上げを始める年についての政府の見解をそれぞれ伺いたい。
- ・大飯原発の二号炉と三号炉の間に活断層があるという指摘がなされているが、調査を行わずに再稼働させたことについて柳澤経済産業副大臣の見解を伺いたい。

下村博文君(自民)

- ・原子力関連事業の実施が特定の独立行政法人及び公益法人に集中し、天下りや利権を生み出す構造について厳しく検証し、法人の整理統廃合を進めるべきとした委員会決議に対して、関係府省は誠実に対応していないのではないか。
- ・文部科学省から原子力規制庁に所管が移る原子力関連の独立行政法人及び公益法人について、具体的に説明されたい。
- ・独立行政法人や公益法人の業務については、チェック機能行政への変更に応じた見直しが必要であるが、どの程度進められているのか伺いたい。

遠山清彦君(公明)

- ・高速増殖炉実用化のための予算が大きく縮減されながらも残されているが、中長期的な展望はあるのか。人材散逸の防止や技術維持のために残されている予算だとすれば、費用対効果が低いと考えられるが、経済産業省及び文部科学省の見解を伺いたい。

奥野総一郎君(民主)

- ・高速増殖炉もんじゅの維持費は人件費を含めていくらであるか伺いたい。また、なぜコストがかかるのかを伺いたい。
- ・高速増殖炉もんじゅに使われている技術は古いものであり、もんじゅは諦めるべきではないかという意見があるが、政府の見解を伺いたい。

花咲宏基君(民主)

- ・原子力発電推進のために使われてきたと考えられる電源立地対策費を廃炉のための技術開発などに組み替えることが必要と考えるが、政府の見解を伺いたい。
- ・原子力発電の安全性の周知や廃炉に係る技術開発のため

の予算はどこから捻出するのか、またその額を伺いたい。

木村太郎君(自民)

- ・六ヶ所村が預かる高レベル放射性廃棄物が最後に六ヶ所村から出る時期について伺いたい。
- ・六ヶ所村は全国から持ち込まれた高レベル放射性廃棄物が処理できないのなら持ち帰って欲しいという思いを持っているが、そのことについて政府の見解を伺いたい。
- ・CO2排出量の25%削減のため、原子力発電所を14基作る計画があったと思うが、現在どうなっているか伺いたい。